

02 産業構造の変化

1 土地利用の変化

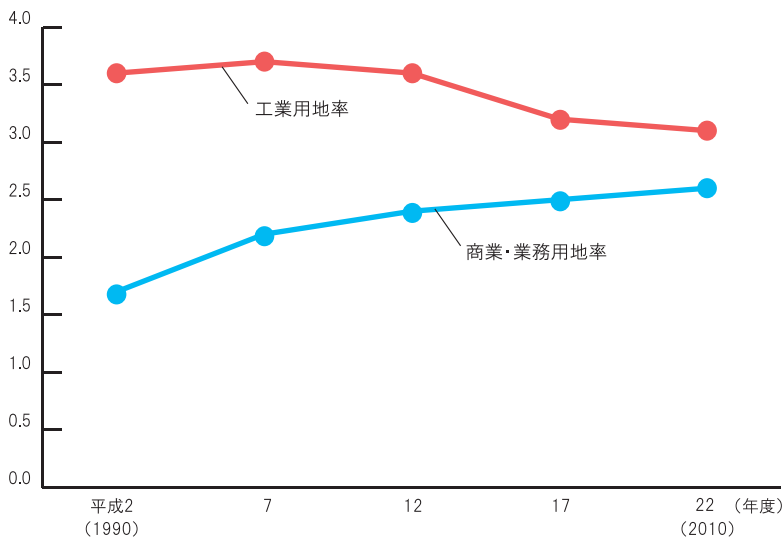
近年、国内の生産コストの上昇や、アジア諸国における生産力の向上などに伴い、製造業の海外進出や生産機能の移転が増加していることから、工業用地が減少し、商業・業務用地が増加する傾向が生じています。

市区町村別に工業用地の変化を見ると、増加が9

地区で、横ばいが13地区であるのに対し、減少は38地区あり、県西部を除く地域を中心に減少しています。一方、商業・業務用地の変化を見ると、減少が6地区であるのに対し、横ばいが24地区で、増加が30地区あり、増加傾向となっています。

工場跡地に、商業施設やマンションなどが建設され、土地利用の混在による操業環境の悪化などが懸念されています。

工業用地率^{*1} 及び商業・業務用地率^{*2} の推移



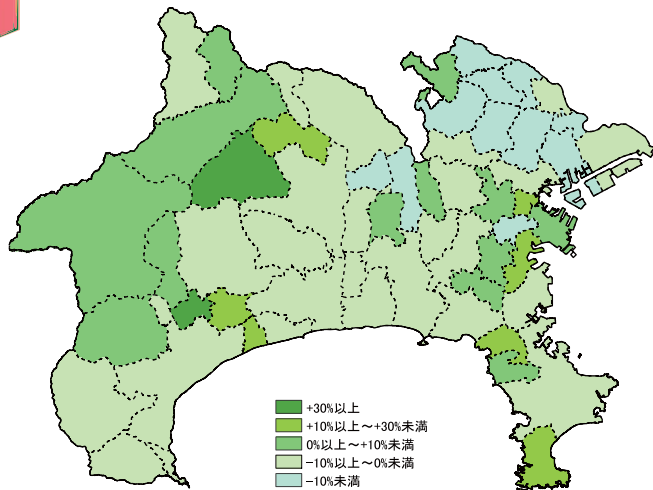
*1 工業用地率=
(重化学工業用地面積 + 軽工業用地面積) / 総面積 × 100 (%)

*2 商業・業務用地率=
(商業用地面積 + 業務施設用地面積 + 宿泊
娯楽施設用地面積) / 総面積 × 100 (%)

神奈川県都市計画基礎調査解析報告書 平成27年3月
(神奈川県都市計画課) より

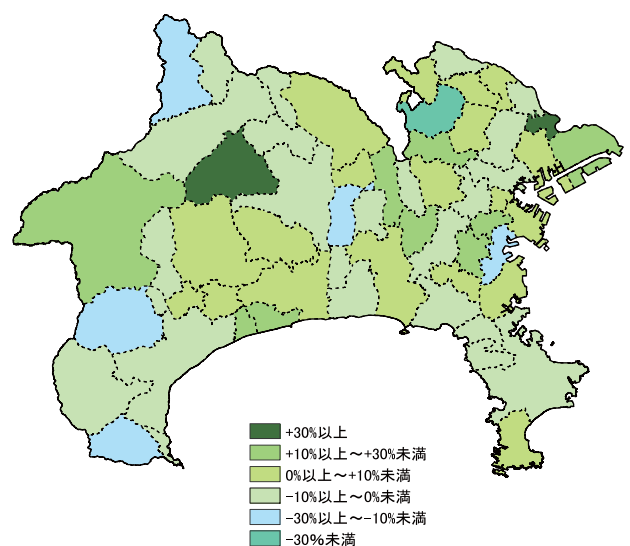
工業用地率の変化

2005 (平成17) 年度～2010 (平成22) 年度



商業・業務用地率の変化

2005 (平成17) 年度～2010 (平成22) 年度



神奈川県都市計画基礎調査解析報告書 平成27年3月
(神奈川県都市計画課) より

2 農地・森林の減少

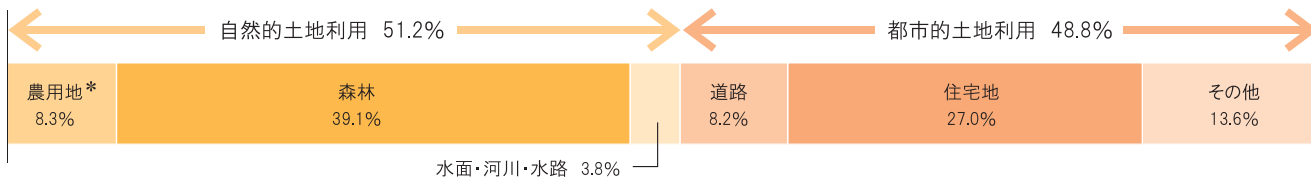
横浜・川崎などの大都市のイメージが強い神奈川県ですが、土地利用の割合を見ると全県域の8.3%が農用地、39.1%が森林で、県土の約半分が自然的土地利用となっています。農地や森林は緑やオープンスペースを提供してくれる貴重な資源であり、水源の保全や防災面でも重要です。

この農地を支える担い手についてみると、農業従事

者の高齢化が進んでおり、男女とも65歳以上の従事者が半数を占めています。後継者不足などによる農業従事者の減少は、今後、耕作放棄地の増加につながる可能性をもっています。

農地面積は、昭和40年代には都市化により急激に減少しましたが最近はややゆるやかな減少傾向で推移しています。まとまりのある農地、森林を保全していくことが重要です。

県土の半分は「自然的土地利用」



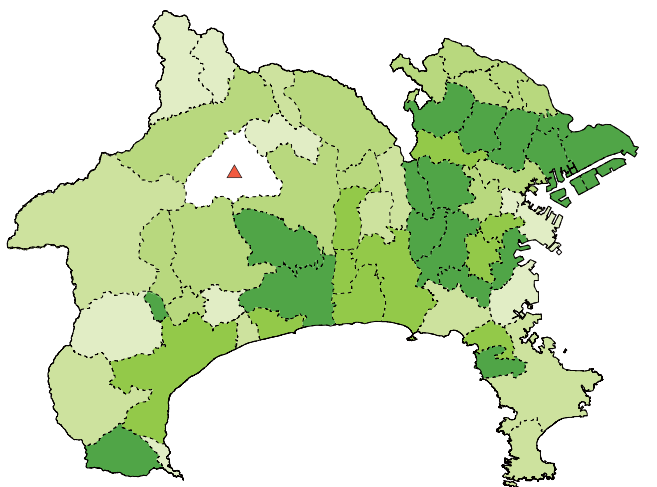
*農用地…神奈川県国土利用計画による田・畑・採草放牧地をさし、農業振興地域の整備に関する法律に基づく農用地区域とは異なります。

神奈川県都市整備統計年報2014（神奈川県都市計画課）より

減少している農地と森林

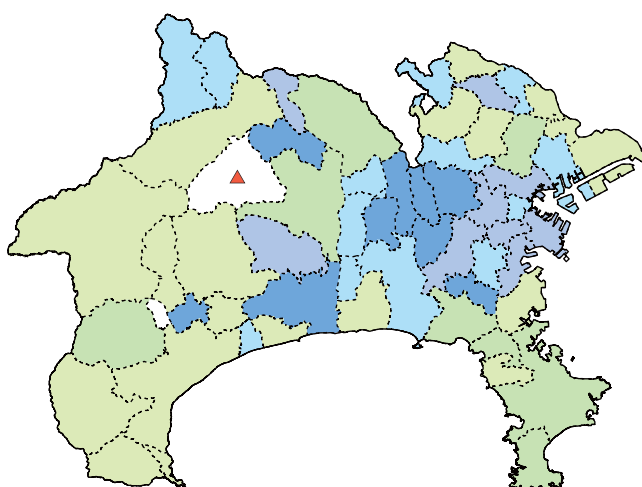
農地の減少率

2005(平成17)年～2010(平成22)年
(市街化区域及び非線引き都市の用途地域指定区域内)



山林の減少率

2005(平成17)年～2010(平成22)年
(市街化区域及び非線引き都市の用途地域指定区域内)

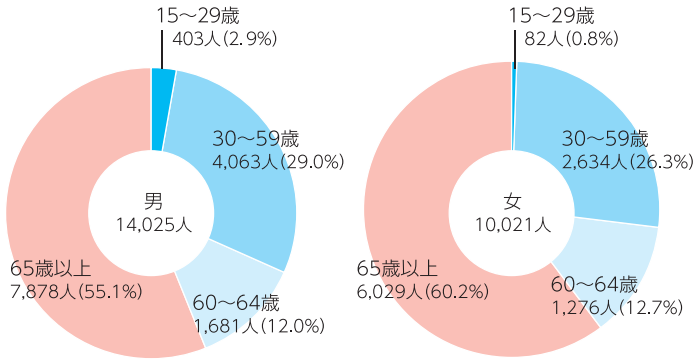


神奈川県都市計画基礎調査解析報告書 平成27年3月
(神奈川県都市計画課)より

農業従事者の半数が高齢者

基幹的農業従事者

(農業就業人口のうち農業を主な仕事としている人)

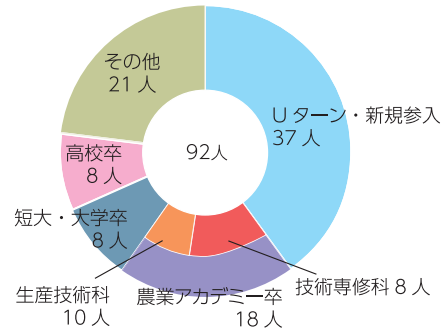


わたしたちのくらしと神奈川の農林水産業 平成27年度版 (神奈川県環境農政局) より

新規就農者

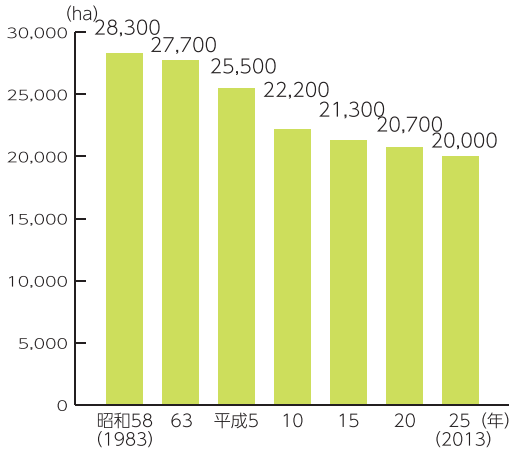
経歴別

新規就農者 2014 (平成26) 年4月1日調査
調査対象: 調査日以前1年間の40才未満の就農者



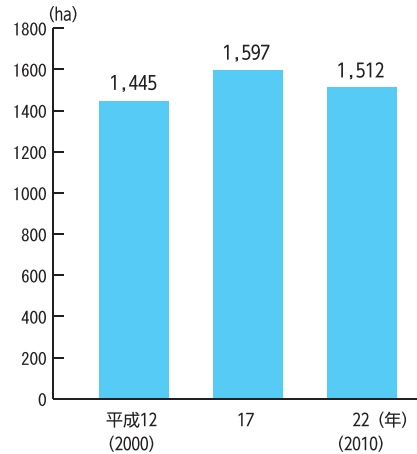
わたしたちのくらしと神奈川の農林水産業 平成27年度版 (神奈川県環境農政局) より

耕地面積の推移



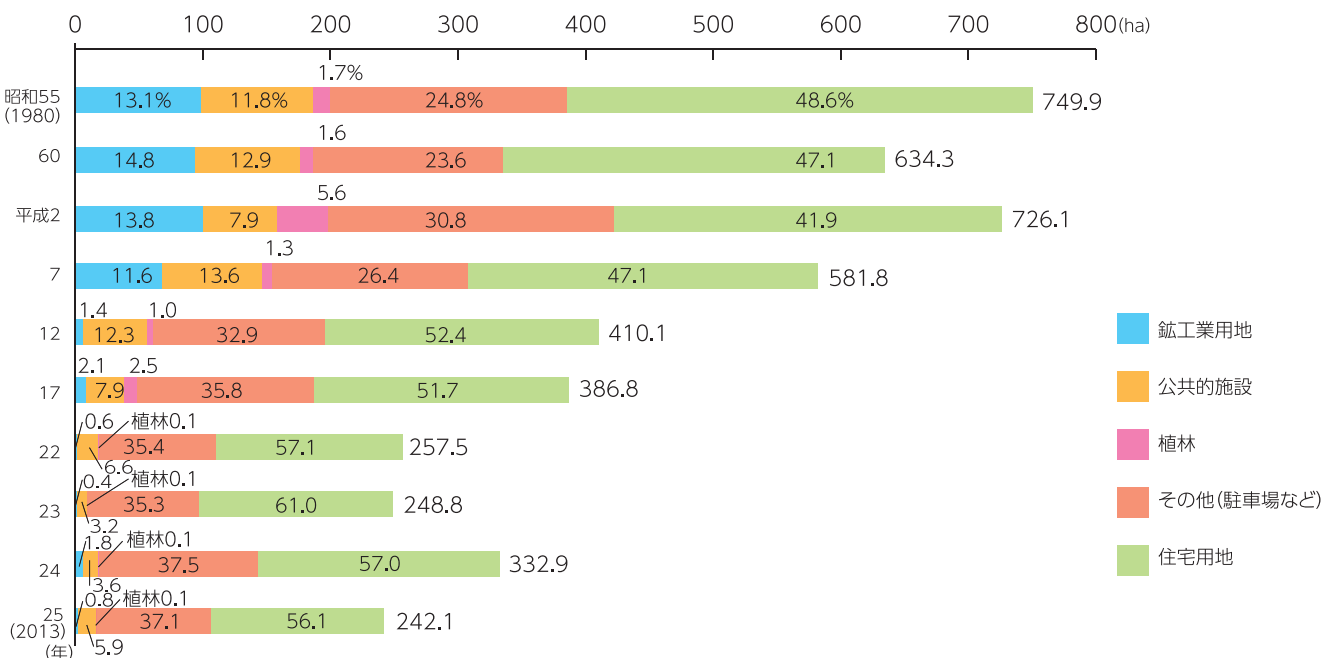
県勢要覧2014 (統計センター) より

耕作放棄地の推移



農林業センサス (農林水産省) より

目的別農地転用面積の推移



わたしたちのくらしと神奈川の農林水産業 平成27年度版 (神奈川県環境農政局) より

3 外国人観光客の誘致促進

近年、日本を訪れる外国人観光客は、団体旅行だけでなく、個人旅行も増加しており、観光ニーズが多様化しています。また、ラグビーワールドカップ2019 や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、多くの外国人観光客に訪れていただくためには、神奈川の魅力を発信するプロモーションを積極的に展開していく必要があります。

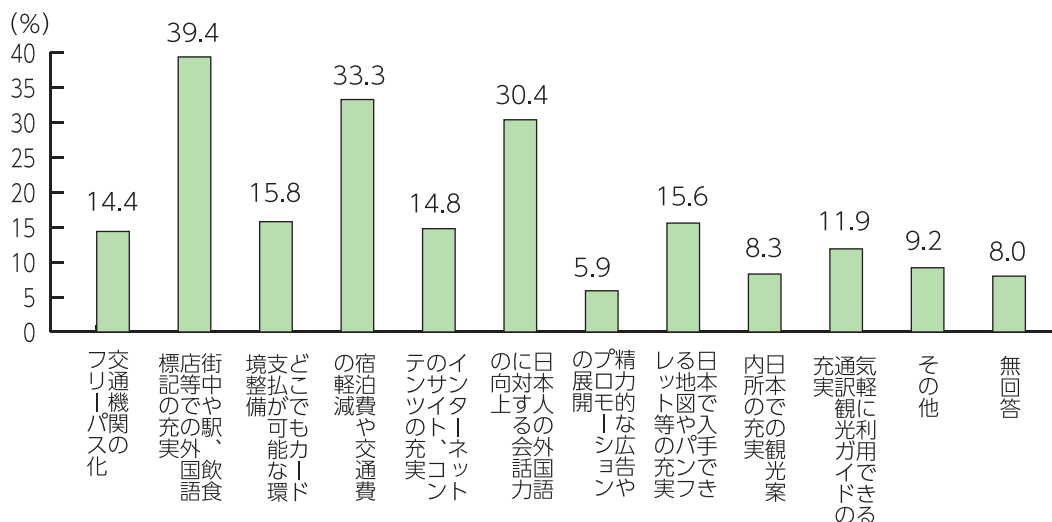
外国人観光客の誘致に向けて、公共交通機関や飲食店、観光施設等において、多言語による標記が不十分であるとの意見が多くあり、特に英語圏での回答者の割合が高く、案内看板等の充実が求められ、各自治体、民間事業者との連携が必要です。

また宿泊費用や交通費が高いこと、観光施設、観光案内所、飲食店、宿泊施設、公共施設において、コミュニケーションがとれないことなどの課題が挙げられており、宿泊交通費の軽減となるようなパッケージツアー等による対策、多言語習得によるコミュニケーション能力の向上が求められています。

外国人旅行者の要望等

県内を訪れている外国人観光客への調査

調査内容：より多くの外国人の方が、日本国内を旅行してもらうことについてどのようなことが重要だと思いますか。



神奈川県外国人観光客実態調査結果報告所 平成24年度（産業労働局国際観光課）より

オリンピック・パラリンピックのための取組

江ノ島



セーリング競技



2020年の東京オリンピックでセーリング競技の開催地として江ノ島が選ばれました。

神奈川からオリンピック・パラリンピックを盛り上げていくための取組を示します。

■おもてなしの心あふれる国際観光地・神奈川をお見せします。
～多彩な国際観光スポット～

- ・輝きを放ち続ける横浜・鎌倉・箱根
- ・国際リゾート 城ヶ島・三崎
- ・体感！悠久の歴史・安らぎの霊峰 大山
- ・国際観光保養地 大磯

■安全・安心な神奈川をお見せします。

～地震・津波対策と治安対策～

- ・被害想定を踏まえたきめ細やかな津波対策
- ・耐震化された大規模建築物
- ・主要駅へのホームドア設置
- ・高度な治安インフラ

2020年の神奈川を支える交通網の整備さがみ縦貫道路全線開通（2014年度）
高速横浜環状北線全線開通（2016年度）
新東名高速道路全線開通（2020年）

オリンピック・パラリンピックのための神奈川ビジョン 2020 より